

三間三重塔婆 本瓦葺



法華山一乗寺は法道上人の開基説があるが信じ難く、奈良時代前期に古法華で創建された可能性が高い。現在の伽藍は建築の遺構でみるかぎり、承安元年(1171)の三重塔が最古で、塔の建立の時期にこの地で寺観を整えたものと推測される。三重塔は太い木割、大き目の相輪、軒が深く通減の大きな造りで安定感がある。一乗寺は播磨有数の古刹だけに、三重塔の他にも本堂(重文)、常行堂、三棟の鎮守社(重文)、妙見堂、護法堂などの建造物や、五輪塔、石造宝塔、さらに絵画「聖徳太子及び天台高僧像」(国宝)や彫刻など、古代から中世前半の優れた文化財が数多く伝えられている。

兵庫県加西市坂本町821-17 0790(48)2006 JR姫路駅から社行きバス約40分
法華山下車徒歩約30分(日・祝日は一乗寺下車) 観覧 8:00~17:00
定例宝物拝観日は3/14、11/5